



平成27年11月6日

各 位

上場会社名 タカセ株式会社
 代表取締役社長 大宮司 典夫
 (コード番号 9087)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 島津 和人
 (TEL 03-3571-9497)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年5月14日に公表した平成28年3月期第2四半期(平成27年4月1日～平成27年9月30日)の連結業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,600	8	25	75	7.54
今回修正予想(B)	4,570	△20	△10	55	5.53
増減額(B-A)	△30	△28	△35	△20	
増減率(%)	△0.7	—	—	△26.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	4,655	16	28	13	1.38

修正の理由

当第2四半期累計期間における営業収益は、厳しい事業環境にある中、不採算取引の見直しをする一方、取引の拡大に努めてきましたが、8、9月の業務取扱量が想定以上に低迷したことから、期初予想値に対して、30百万円減(△0.7%)の4億5千万円となる見込みであります。

利益面につきましては、運賃仕入コストや労務コストが上昇基調にある中、不採算営業所の閉鎖や業務の効率化等コスト削減に取り組んできましたが、8、9月の急激な業務取扱量の減少により操業度の低下を余儀なくされ、これにより、営業損益は期初予想値に対して28百万円減少し20百万円の営業損失となる見込みであり、経常損益は期初予想値に対して35百万円減少し10百万円の経常損失となる見込みであります。さらに、親会社株主に帰属する四半期純利益は、計画どおりに投資有価証券売却益1億円を特別利益に計上したこともあり、期初予想値に対して20百万円減(△26.7%)の55百万円となる見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では平成27年5月14日公表の予想値を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上